

平成25年度教育委員会点検評価

[評価対象期間]

平成25年4月1日～平成26年3月31日

平成26年8月

加西市教育委員会

加西市教育委員会評価委員会

平成25年度 加西市教育委員会 重点施策

大項目	重点目標	実践目標	担当課
新しい時代を切り拓くこころ豊かな人づくり	1 0歳から15歳までの一貫した教育を進めます	1 遊びを通じた確かな「学び」を培う幼児教育を進めます	こども未来課
		2 発達や学びの連続性を保つ幼・小・中学校の連携教育を進めます	総合教育センター
		3 知識基盤社会に対応する「確かな学力」の定着を図ります	学校教育課
		4 自尊心や自律性など道徳性をはじめとした「豊かな心」を育てます	学校教育課 総合教育センター
		5 運動や食育、健康教育を通じて「健やかな体」を育みます	学校教育課 教育総務課
		6 家庭・地域・学校園の連携のもと、特色ある学校園づくりを進めます	学校教育課
		7 教職員としての資質能力の向上に努めます	総合教育センター
	2 「市民が主役」の生涯学習社会づくりを進めます	1 市民だれもが参加しやすい学習機会の提供と学びによる生きがいづくりを進めます	文化スポーツ課 図書館
		2 市民だれもが「いつでも、どこでも、気軽に」スポーツ活動に親しめる環境整備を進めます	文化スポーツ課
		3 豊かな心を育み、文化の薫り高い環境の整備充実を図ります	文化スポーツ課
	3 みんなで子どもの未来を応援します	1 子育て環境の整備と充実を図ります	こども未来課
		2 心豊かでたくましい青少年の健全育成を進めます	総合教育センター
		3 安全・安心な教育環境を整えます	教育総務課

重点目標	1	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます
------	---	-----------------------

実践目標	1	遊びを通した確かな「学び」を培う幼児教育を進めます												
<p>●取組1 「体験的な活動の充実ならびに食育を通じて家庭、地域との連携推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「音楽的知性」「絵画・言語的知性」「空間・論理数学的知性」「身体運動的知性」部門からなる幼児教育プログラムを各保育所・幼稚園で実践し、人との関わりや思考・表現力の育成を実施 ・地域、家庭などと連携した健全な食育活動の実践 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に基づく園活動を実施し、地域の老人会・保護者会等の協力のもとに太鼓演奏、凧揚げなどの正月遊びやマラソン大会等の取組を通じて地域と幼児の関わりを深めた。 ・園庭を活用した野菜づくりなどを通して収穫の喜びを体感し、さらに収穫物を調理することで食べることの楽しさを深めた。 ・市指定研究発表会を宇仁幼稚園で実施し、幼保職員30人が参加し職員資質向上に努めた。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部門毎に各園で実施する体験活動を、他園でもできる園相互の資材借用や技術指導など、柔軟な協力体制を講じていく必要がある。 ・「加西市食育推進計画」にもとづき各園で着実に実践する必要がある。 ・私立園の独自性を尊重しつつ、普及や研修について継続的呼びかけを行う必要がある。 		担当課												
		子ども未来課												
		達成度												
		<table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="background-color: black;"></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>												
<p>●取組2 「幼稚園で4～5歳児全てに2年間の幼稚園教育を実施」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間形成の基礎となる豊かな心情、物事に自分から関わろうとする意欲や健全な生活を営むために必要な態度を培い、滑らかに小学校教育へ接続 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立幼稚園5園では、長時間部、短時間部にかかわらず4・5歳の園児に2年間の学校教育法にもとづく幼児教育を実施し、小学校への円滑な接続を図った。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳～5歳児までの成長や地域の特性に応じた市内共有性のある本市保育・幼児教育プログラム原案の作成を急ぎ、公私立園の共通した教育方針へと公私立幼保職員に理解を深める必要がある。 ・子ども・子育て支援新制度の実施により学校教育法にもとづく満3歳児からの幼児教育を全ての園児に提供し、保護者にも目的が理解されるよう周知を図る必要がある。 		担当課												
		子ども未来課												
		達成度												
		<table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td></td><td style="background-color: black;"></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>												

<p>●取組3 「小学校教育への滑らかな接続に情動知能を育てるSTARTプログラムの実践」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期において対人関係の基礎を習得するにあたり自己抑制と集中力を高めることで小1プロブレムの解消 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民幼保職員ならびに保護者を対象に、STARTプログラムの目的ならびに実践講座を開設し、周知を図った。 ・園長ならびに主任による実践的研究会を年3回開催し、各園での実践普及を図り職員間で共有するプログラム実践として認識を深めた。 ・STARTプログラム実践による追跡調査を兵庫教育大学に協力し、プログラム実践による指導効果や有効性について情報の共有化を図った。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校入学後の授業態度など情報交換を進めることで、学びの連続性に配慮した幼児教育の向上を図る必要がある。 	<p>担当課</p> <p>こども未来課</p> <p>達成度</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>															
<p>●取組4 「子育て相談などの機会設定と療育・健康部門と連携した子育て支援の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども子育て支援法の改正に伴い子育て支援拡充を目的とした子ども子育て会議の設置 ・就園前の親子を対象に、育児相談ならびに体験保育の場に幼保施設園庭を解放 ・ねひめキッズ及び私立保育所に子育て拠点を設け、子育て相談ならびに就園前の親子交流の場に提供 ・発達障害児支援について療育・健康部門との連携を図り、加配職員を適正に配置。個々の特性に応じた支援・指導計画の立案ならびに発達に応じた支援ファイルの作成 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども子育て支援計画策定に向けて、条例委員会の本市子ども子育て会議を設置した。また、多様な地域ニーズに応えるサービス充実の為、国基本指針に基づき小学生ならびに就学前児童の世帯を無作為に抽出し2,000世帯へアンケート調査(回収率69.7%)を実施し、支援事業量の見込み等の解析を行った。 ・全ての幼保施設では、未就園児親子を対象に延56回の園庭開放や幼稚園ウィークなどの公開保育を計41回開催した。また、親子参加事業等を64回開催し、子育て不安解消に向けた取り組みを行った。 ・就園前の親子を対象に幼保施設2カ所で子育て広場を週6日開設し、親子交流や子育て相談利用者が年間約9,500名あった。 ・発達相談等のあった公私立に属する3歳児以上の園児53名を対象に、個々の実態調査を行ったうえ支援担当職員17名の配置を決定した。また、私立園には加配職員配置助成措置を講じた。 ・発達支援児個々の詳しい療育内容や保育士の関わり方等の支援内容が判る支援ファイルを作成し、研修会ならびに特別支援ネットワーク会議で保幼小職員相互で支援ファイル資料をもとに情報伝達を行うことで支援の継承を図った。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市子ども子育て会議の検討事項は、地域の実情等に応じた総合的かつ計画的な推進に関する必要な事項など多岐にわたり、また実効性と継続性を伴う施策展開を図る必要がある。 ・就園前親子など子ども子育て支援業務については、行政窓口の集約ならびに業務合理化を行うことで子育て世代への利便性を高め、効率的運営を図る必要がある。 ・特別支援に関わる相談窓口の柔軟な対応や連携を通じて保護者との信頼を醸成し、「つなぐ」支援体制の強化が引き続き求められる。また、療育部門等の関係機関との連携を深め、園児個々の発達状況と経過を客観性をもって早期に把握し、情報共有化と保育者の資質向上に努める必要がある。 ・特別支援児支援担当職員を臨時職員で対応しているものの、幼保職員は恒常的に不足状態であり、職員確保が喫緊の課題である。 	<p>担当課</p> <p>こども未来課</p> <p>達成度</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>															

実践目標	2	発達や学びの連続性を保つ幼・小・中学校の連携教育を進めます												
<p>●取組1 「幼小中学校及び関係機関との連携の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達検査(WISC-IV)に関する研修講座の開催 ・幼保小中特別支援ネットワーク会議開催による児童生徒の支援や連携のシステムの構築 ・児童療育室や市民病院医師等とのネットワークを活かしたケース会議や連絡会議の開催 ・発達支援プログラムの提供(4つの小集団トレーニングを各10～18回、保護者学習会10回) ・小中連携教育推進委員会として研修会及び情報交換等を開催(年間2回) ・各学校生徒指導担当者による連絡会の開催(年間延べ9回) <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての発達支援ファイルが電子ファイル化され、個別の指導計画の様式が統一された。 ・子育て支援や療育事業での相互連携により、支援体制の充実が図れた。 ・特別な支援を要する児童生徒・保護者への支援と関係校との連携が図れた。 ・各学校における小中連携教育への関心が高まり、テーマを持った新しい取組が増えた。 ・小中学校の様々な事項の情報交換や情報共有の体制が定着してきた。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後個々の児童生徒に応じたより具体的な支援方法を検討し、効果的な支援を実施する必要がある。 ・電子ファイルのさらなる活用を推進し、より充実した支援体制を構築することが課題である。 ・小中連携教育を推進させるため、全中学校区に部会を設置し、新しい取組を増加させる必要がある。 ・中1及び小6担任教諭を含め、すべての小中連携教育に対する教職員の意識向上を図る必要がある。 		<p>担当課</p> <p>総合教育センター</p> <p>達成度</p> <table border="1" data-bbox="1318 969 1503 1187"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>												

実践目標	3	知識基盤社会に対応する「確かな学力」の定着を図ります												
<p>●取組1 「基礎基本の定着・言語活動の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校における教育課程編成において、知識・技能の定着を図り、言語活動を充実できるように指導助言を実施 市教委指定学習指導研究発表校(小2校・中1校・特1校)及び中間発表校(小2校・中1校)の研究に関する指導助言を実施 朝(業前)の学習タイム週4回設定と特色ある学校教育の推進 学校図書の実態と活用および理数備品の整備 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査結果をもとに、児童生徒の実態を分析・考察し、「家庭学習ハンドブック」の作成など、改善に向けた取組ができた。 研究発表校での授業参観や研究協議を踏まえ、国・県・市の方針を含めて適切に指導助言を行うことができた。 各学校の図書及び理数備品に係る予算の拡充を図り、備品整備の拡充を図ることができた。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査結果から、家庭学習の充実が課題となっている。その充実を図るために、家庭と連携した取組が重要である。 各学校での特色ある教育を推進しているが、さらに充実した取組にするために情報交換会を行うなど、検討する必要がある。 		<p>担当課</p> <p>学校教育課</p>												
<p>●取組2 「児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> スクールアシスタント、ヤングアドバイザーの配置による個に応じたきめ細かな指導の充実 新学習指導システム教員の活用による少人数指導・同室複数指導の推進 児童生徒支援教員や学校生活支援教員を配置し、個に応じたきめ細かな指導を実施 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 市単事業としてスクールアシスタント(教員免許状所持者)とヤングアドバイザー(教員免許状所持者及び教育系大学生)を全小中学校に配置し、同室複数指導により特別支援教育の充実や学力向上を図ることができた。 児童生徒支援教員や学校生活支援教員が、個々の児童生徒の状況を把握し、担任と連携した指導を行うことができた。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 同室複数指導をより効果的に行えるよう、事前事後の打ち合わせの持ち方や方法等を検討する必要がある。 小中連携教育を推進し、発達段階に応じた系統性のある指導ができるように共通理解を図る必要がある。 		<p>担当課</p> <p>学校教育課</p>												
		<p>達成度</p> <table border="1" data-bbox="1318 891 1503 1061"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>												
		<p>達成度</p> <table border="1" data-bbox="1318 1756 1503 1850"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>												

実践目標	4	自尊心や自律性など道徳性をはじめとした「豊かな心」を育てます															
<p>●取組1 「道徳教育の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間を要にした教育活動全体に位置づけた道徳教育の推進 ・兵庫版道徳教育副読本等を活用した道徳の時間の充実及び家庭での活用 ・家庭や地域、関係団体と連携した体験活動等を通し、「豊かな心」を育成 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北条中学校で道徳教育を研究テーマとした市指定研究発表会を開催し、道徳教育の充実に資することができた。 ・道徳教育推進教師を中心として、各校の道徳教育推進全体計画及び年間指導計画を設定し、効果的な教育活動を展開した。 ・各校での自主教材の開発や参観日での積極的な授業公開などが見られた。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒自ら、地域社会の一員として積極的、実践的な行動ができるような授業プランを構想することが大切である。 ・教育活動全体に位置づけた道徳教育をさらに推進できるように検討する必要がある。 		<p>担当課</p> <p>学校教育課</p> <p>達成度</p> <table border="1" data-bbox="1318 719 1501 891"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>															
<p>●取組2 「健全育成関係機関、団体との連携強化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成に関わる関係機関・団体等の連携強化による育成事業や青少年非行防止活動の展開 ・教育相談体制の充実 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連合PTA、子ども会連合会、青少年育成協議会、補導委員連絡協議会等関係団体等とよく連携し、青少年健全育成のための取組を推進することができた。 ・中学校区毎の健全育成関係団体連絡会による補導活動が定着した。 ・市内相談機関連絡会を実施し、相談体制の強化を図ることができた。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットに関わる問題行動、家庭の事情による問題など様々な要因が複雑にからんで青少年の問題行動が発生していることに対する対応を検討する必要がある。 		<p>担当課</p> <p>総合教育センター</p> <p>達成度</p> <table border="1" data-bbox="1318 1451 1501 1621"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>															

実践目標	5	運動や食育、健康教育を通じて「健やかな体」を育みます															
<p>●取組1 「体力の向上・健康教育、食育の推進・充実」</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校における体力測定および「運動プログラム2009」の実施 外部講師の招聘や「体力アップひょうご」サポート事業等による健康教育の推進 望ましい食習慣の形成と定着を図るための食育指導の推進 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 加東健康福祉事務所や大学教授など外部講師を招聘し、健康教育(喫煙、薬物等がもたらす身体への悪影響等)や食育指導を行ったことで、児童生徒の健康、安全に関する知識・理解、関心が高まった。 5月に全小・中学校において体力測定を実施し、その結果を踏まえて計画的・継続的な体力づくりができた。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の体力レベルは二極化傾向にあり、日常生活における運動量が大きく影響していると考えられる。このことから、日常的な運動習慣をいかに定着させるかを検討する必要がある。 専門的な知識を有した人材の活用を促進するとともに、家庭や地域と連携した健康学習の場の設定と家庭教育の促進に努める必要がある。 		<p>担当課</p> <p>学校教育課</p> <p>達成度</p> <table border="1" data-bbox="1378 757 1442 931"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>															
<p>●取組2 「学校給食事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校の完全給食実施に向けた、北部学校給食センターの建設と運営 地産地消を進めながら、安全安心な給食調理の実施 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年12月に北部学校給食センターが完成し、試食会を2日行った後の平成26年1月14日から調理を開始した。施設の完成より稼働までの準備期間が短かったが、計画通り運営が行えた。 米については、地元農協と協力し、市内産ヒノヒカリを100%の割合で使用している。野菜については、平成26年1月から播磨農業高校とかさい愛菜館より市内産を購入している。 詳細な「学校におけるアレルギー疾患対応マニュアル」を作成し、各学校で当該児童生徒に対して丁寧な対応を行うことができた。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年1月より、学校給食センター2施設と単独調理場3施設で学校給食調理をしているが、今後児童生徒数の減少に伴い、施設の統合を進めることが課題である。特に南部学校給食センターは、建設より46年が経過しているため、随時修繕を行いながら運営している状況である。よって、今後は改築を含めた施設整備計画を作る必要がある。 米は全て市内産であるが、野菜については、種類と量に限りがあるため、メニューを考慮して使用量を増やすことが課題である。 		<p>担当課</p> <p>教育総務課</p> <p>達成度</p> <table border="1" data-bbox="1378 1563 1442 1736"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>															

実践目標	6	家庭・地域・学校園の連携のもと、特色ある学校園づくりを進めます		
<p>●取組1 「特色ある学校づくりの推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校づくり応援事業」による、特色ある学校づくりのさらなる推進 ・地域の自然や文化、人材を活用するなど創意工夫をこらした特色ある取組の展開 ・家庭や地域と連携した体験活動の充実 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワッショイスクールをはじめ、地域住民の様々な支援により多様な体験活動が可能となり、教育活動の充実につながった。 ・家庭や地域と連携した活動が推進し、地域に信頼される学校、開かれた学校づくりにつながっている。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校づくり応援事業」は、本年度で4年が経過し、各学校の特色ある取組が定着しつつあるが、さらに創意工夫し充実が図れるように検討する必要がある。 ・各学校の取組を広報し、さらに地域の理解や協力が得られるように発信する必要がある。 		<p>担当課</p> <p>学校教育課</p>		
		達成度		

実践目標	7	教職員としての資質能力の向上に努めます																					
<p>●取組1 「教職員の研修講座の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員対象アンケート調査の結果をもとにして20コース、42講座の研修講座の開催 ・実践に即した事例研修やワークショップ、現地研修など多彩な講座の開催 ・コースの2講座同日開催による研修内容の定着化 ・講座終了後、参加者全員を対象とする講座内容を評価するアンケートの実施、集計・分析 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数延べ534名という多くの受講者があった。 ・講座数が増え研修の機会が多くなった。特に教科に関する講座の充実が図れた。 ・アンケート調査による評価が、5段階平均で4.45ポイントとなり、受講者の満足度が高かった。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・責任出席の講座数を減少させ、魅力ある研修講座を増やす必要がある。 ・講師との事前打ち合わせを綿密におこない、受講生の満足度をあげる充実した内容を検討する必要がある。 ・幼児教育や中学校教育に関する講座を増やし、受講者数の増加を図ることが課題である。 		<table border="1"> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1323 244 1498 282">担当課</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1323 282 1498 757">総合教育センター</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1323 757 1498 795">達成度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1323 795 1378 833"></td> <td data-bbox="1378 795 1436 833"></td> <td data-bbox="1436 795 1498 833"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1323 833 1378 871"></td> <td data-bbox="1378 833 1436 871"></td> <td data-bbox="1436 833 1498 871" style="background-color: black;"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1323 871 1378 909"></td> <td data-bbox="1378 871 1436 909"></td> <td data-bbox="1436 871 1498 909"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1323 909 1378 947"></td> <td data-bbox="1378 909 1436 947"></td> <td data-bbox="1436 909 1498 947"></td> </tr> </table>	担当課			総合教育センター			達成度														
担当課																							
総合教育センター																							
達成度																							

※ 達成度の表示については、横軸：難易度、縦軸：成果として塗潰して表示する
 難易度は高い順にA～Cの3段階、成果は高い順に4～1の4段階で評価する
 右の例示は難易度B、成果3

4			
3			
2			
1			
	C	B	A

教育委員会自己評価	概ね達成
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育プログラム方針にもとづく継続した活動により、園運営ならびに幼児教育・保育の推進に地域や家庭の理解や協力を得ることができた。 ・子育て支援拡充を目的として、子ども・子育て会議を設置し、多様な子育てニーズや地域の実情に応じた支援計画策定に着手したほか、相談機会の創出により就園前の子育て不安の払拭に努めた。 ・支援を必要とする幼児については、福祉部門等との連携や個々状況に応じた発達支援の仕組みづくりの進捗で小1へ滑らかにつながり体制が整えられつつある。しかし、幼保職員の労働環境改善や資質向上等に向けてのマンパワー不足は大きなマイナス要因となりうることから、適正な幼保施設のあり方をはじめ幼保職員数の確保等に課題を残している。 ・すべての発達支援ファイルを電子ファイル化することで、個別の指導計画の様式が統一され、特別な支援を要する児童生徒・保護者への支援に繋げることができた。 ・小中連携教育推進委員会の開催などを通し、各学校における小中連携教育に対する関心を高め、テーマ性を持った新しい取り組みを増やすことができた。また、学校間での情報交換や共有化が定着してきた。 ・全国学力・学習状況調査結果をもとに、児童生徒の実態を分析・考察し、「家庭学習ハンドブック」の作成など、改善に向けた取組ができた。より一層の充実を図るため家庭との連携した取組が重要である。 ・学校給食については、北部学校給食センターの完成により、平成26年1月から中学校の完全給食が実現できた。また、単独調理場5カ所を給食センターに統合し、給食センター2施設と単独調理場3施設の体制とした。運営についても、給食費の統一、食材の一括購入、会計処理の一本化で合理化を行いつつ、地産地消の推進も進めることができた。今後は、児童生徒数の推移を見ながら、南部学校給食センターの改築時期を検討する必要がある。 ・「学校づくり応援事業」は、本年度で4年が経過し、各学校の特色ある取組が定着しつつあるが、さらに地域の理解や協力が得られるよう広報活動や協力要請などについて、創意工夫し充実が図れるように検討する必要がある。また、各学校の特色ある取組を一層推進していくためには、各学校に分配する事業費を拡大していくことも重要な課題である。 ・総合教育センターにおいて、アンケート調査をもとに教職員の希望を尊重し、教科に関する講座の充実、ワークショップなど実践に即した多彩なプログラム内容の開催により、多くの受講者があった。満足度の高い講座を実施することで、教職員の資質向上を図ることができた。 	

※ 自己評価については「達成」、「概ね達成」、「やや不十分」、「不十分」の4段階評価とする。

評価委員会の評価	概ね妥当
<p>幼児教育プログラムは3年目を迎え、着実に成果をあげていると言えます。</p> <p>「幼・小・中の連携教育」については、前年度同様、高い達成度でした。特に、特別な支援を要する子どもへの支援については、個別の指導計画の様式が統一されるとともに、ファイルの電子化を図るなど、系統的・計画的な支援が進められており、評価できると思われます。</p> <p>「確かな学力の定着」についても、高い達成度となっています。全国学力・学習状況調査の実態を踏まえ、状況を分析・考察し、家庭との連携を図るなど、改善に向けて組織的な取組が見られました。今後も定量的・定性的なデータを踏まえ、継続的な支援がなされることを期待しています。</p> <p>「教職員の研修講座の充実」については、アンケート結果を見ると、受講者数も増えており、受講者の満足度も前年度同様、高いポイントとなっています。成果からみると、もう少し高い評価であってもいいのではないかと思います。</p>	

※ 評価委員会の評価については「妥当」、「概ね妥当」、「やや不適」、「不適」の4段階評価とする。

重点目標	2	「市民が主役」の生涯学習社会づくりを進めます
------	---	------------------------

実践目標	1	市民だれもが参加しやすい学習機会の提供と学びによる生きがいづくりを進めます													
<p>●取組1 「学習機会の提供と生きがいづくりの推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設の機能の充実と条件整備 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館では地域の文化や社会課題に応じた主催講座を58講座開催し、延べ485回、延べ9,309名（昨年度比104%）の利用があった。 ・今年度からオークタウン加西を社会教育施設として運営し、北部子育て学習センターの移転に合わせ改修工事を行い、施設の充実を図った。 ・環境保全推進助成事業補助金を利用し、人と自然の博物館の協力を得て、小学生を対象に様々な教育施設で環境学習事業を実施した。19講座を開催し、延べ1,666人が参加し様々な視点から加西の自然を学習した。 ・公民館で学ぶ登録グループの学習成果を地域へ還元する「公民館まちづくり出前講座」を本格実施した。今年度は38回にわたり、延べ209人の登録グループ生が市民705人に出前講座を行った。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館で自主的に学ぶ登録グループの高齢化と固定化が進み、活性化を図ることが必要である。 ・社会課題の解決を図るものや地域のニーズに対応した学習機会を提供し、地域づくりや地域振興を担う人材を育成し、まちづくりに寄与する役割を果たしていく必要がある。 ・社会教育施設の老朽化が進み、高齢化が進む中、参加者が利用しやすい施設の整備が課題である。 		<p>担当課</p> <p>文化スポーツ課</p>													
		達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td>■</td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>					■							
	■														
<p>●取組2 「学習拠点としての図書館の機能整備と有効活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を推進するため、各種イベントの開催 ・市史を読む会(月例)の開催 ・中学校巡回図書開始 ・老朽化していたAVコーナーの一新 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館まつりをはじめおはなし会など、子どもを対象としたイベントの開催であったが、幅広い年齢層から延べ約4,600名の参加者があり、図書館の有効利用につながった。 ・郷土資料の市史を題材に理解を深め、市史の伝承につながった。(参加延べ213人) ・市内中学校に巡回図書を開始したことによって、活字離れになりやすい層への読書啓発につながった。(100冊×4校) ・AVコーナーの一新により視聴覚資料の利便性の強化につながった。(13ブース) <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用の促進を図るための取組が、幼児から小学生向けのイベントの割合で高くなっており、利用者層を拡大するため対象年齢を広げた取組が必要である。 ・加西市内で唯一の図書館として、蔵書数の充実と利用増に向けた取組が必要である。 		<p>担当課</p> <p>図書館</p>													
		達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td>■</td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>					■							
	■														

実践目標	2	市民だれもが「いつでも、どこでも、気軽に」スポーツ活動に親しめる環境整備を進めます												
<p>●取組1 「体力づくりや運動能力向上に向けた指導体制の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進につながる指導者の育成 ・市民を対象としたスポーツの普及 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者講習会(「ショートテニス講習会」「普通救命講習会」)を実施。スポーツ指導者の資質向上及び人材の育成が図れた。 ・市民を対象とした「ショートテニス教室」を善防公民館で全10回開催した。 ・町親善ソフトボール大会及び体育大会参加者数 3,090名 <p>市民で構成された競技団体が大会等を実施することにより、スポーツに親しむ環境づくりができた。</p> <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ実践者の増加に伴い、指導者の育成が急務となり、各種取組を行っているが、まだまだ指導者の養成については十分でない状況にある。今後も市民がスポーツに親しむ環境づくりを目指し、指導者の育成を図る必要がある。 		<p>担当課</p> <p>文化スポーツ課</p> <p>達成度</p> <table border="1" data-bbox="1378 689 1442 860"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>												
<p>●取組2 「スポーツ団体の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会加盟団体及びスポーツ少年団が主催する大会の支援 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技団体登録者数 192団体 3,203名、現状の補助金の中で、各団体がスポーツ推進と自主運営が行えるよう支援することにより、最大の効果を発揮できた。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会加盟団体及びスポーツ少年団は、単一種目団体の集合体であることから、各種目の競技の専門性が高く、スポーツに親しみのない人にとっては、他の団員との技術力の差が大きく継続的に活動することが難しい。今後はスポーツクラブ21などの諸団体との連携を強化させ、気軽にスポーツに親しむことのできる環境づくりが必要である。 		<p>担当課</p> <p>文化スポーツ課</p> <p>達成度</p> <table border="1" data-bbox="1378 1164 1442 1339"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>												
<p>●取組3 「体育施設環境整備の促進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育施設の開放 <p>市内小学校11校、中学校4校、特別支援学校1校の運動場、体育館、武道館を市民に開放</p> <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育施設開放に係る利用者数 241,392名 ・加西勤労者体育センター等公共スポーツ施設の利用者数 69,104人 ・多目的グラウンドを全面人工芝生とし、グラウンドゴルフ、フットサルができる施設に改修した。 ・適正な施設整備及び備品購入実施により、適切な施設の管理運営ができた。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の補修・改修を計画的に進める必要がある。 		<p>担当課</p> <p>文化スポーツ課</p> <p>達成度</p> <table border="1" data-bbox="1378 1733 1442 1899"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>												

<p>●取組4 「地域スポーツ活動の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラブ21、スポーツ少年団の育成と自主活動の促進及びスポーツ人口の拡大推進 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラブ21 会員数 1,373名 <p>スポーツクラブ21北播磨地区交流フェスティバル大会に参加することにより、複数のニューススポーツを体験することができ、幅広い年齢層や北播磨地域の人たちとも交流できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団員数 572名 <p>現状の補助金の中で、各団体がスポーツ推進と自主運営が行えるよう支援することにより、最大の効果を発揮できた。</p> <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各スポーツクラブ21の活動状況に応じ統合等を促進し、円滑な運営を支える必要がある。 	<p>担当課</p> <p>文化スポーツ課</p>												
<p>●取組5 「地域スポーツの振興と活性化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツの振興と活性化を図るため、加西市スポーツ推進計画を策定 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進計画策定会議を6回開催し、加西市スポーツ推進計画を策定した。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ関係団体や学校、地域と行政が連携・協力し、加西市スポーツ推進計画を推進して行く必要がある。 	<p>担当課</p> <p>文化スポーツ課</p> <p>達成度</p> <table border="1" data-bbox="1316 929 1508 1106"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>					■							
	■												

実践目標	3	豊かな心を育み、文化の薫り高い環境の整備充実を図ります															
<p>●取組1 「文化芸術の催し開催などによる魅力ある文化発信」</p> <ul style="list-style-type: none"> 第47回文化祭の開催 文芸祭・美術公募展・市民音楽祭・囲碁大会・いけばな展・茶席 家族ふれあい芸能祭・おやこ劇場 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 第47回文化祭 参加者人数:2,242名、入場者数:2,753名 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催内容の適宜見直しが必要である。 各事業の魅力を知ってもらい集客するためのPR方法に工夫が必要である。 		<p>担当課</p> <p>文化スポーツ課</p> <p>達成度</p> <table border="1" data-bbox="1321 461 1498 633"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>															
<p>●取組2 「文化連盟所属団体をはじめとする市民・団体の自主的活動への支援」</p> <ul style="list-style-type: none"> 東播磨選抜美術展の開催 東播磨文化団体連合会に所属する美術団体による美術作品の展示 文化連盟および同連盟加盟団体の自主的活動への支援 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化連盟(登録者数:約700名)を中心に、東播磨選抜美術展(出品者数:67名、入場者数:500名)の開催、東播磨文化団体連合会主催事業(6事業)への参加に加え、文化連盟加盟団体自主事業を年間約40回開催するにあたり支援を行い、自主活動を充実させることができた。 東播磨選抜美術展開催にあたっては、開催主催者である市内外の参加団体と粘り強く調整を行い、参加者の満足度が高い事業にすることができた。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体によっては、会員減少や高齢化が進むなど活性化が必要なところがある。 団体構成員の更なる自主・自立に向けた指導を継続する必要がある。 		<p>担当課</p> <p>文化スポーツ課</p> <p>達成度</p> <table border="1" data-bbox="1321 1066 1498 1238"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>															

※ 達成度の表示については、横軸：難易度、縦軸：成果として塗潰して表示する
 難易度は高い順にA～Cの3段階、成果は高い順に4～1の4段階で評価する
 右の例示は難易度B、成果3

4			
3			
2			
1			
	C	B	A

教育委員会自己評価	概ね達成
<p>・公民館主催講座参加者の増加、登録グループによる出前講座の本格実施、オークタウン加西の整備や環境学習事業の実施等、公民館を中心とした生涯学習の推進が順調に進んでいる。</p> <p>・図書館を市民にとってより利用しやすく身近なものとするために、図書館まつりやおはなし会等の開催など積極的な取組が推進できた。今後とも、対象年齢を広げた取組など更なる工夫が必要である。</p> <p>・スポーツ推進計画を策定することができた。今後は団体、施設、事業と一体的にスポーツ推進を図っていくとともに、スポーツ推進審議会での推進等をフォローしていく必要がある。また、多目的グラウンドやアクアス加西の整備が実施できた。これらの施設を活用した活動が期待されるとともに、指導者の育成を図る必要がある。</p> <p>・例年の文化事業に加え、東播磨選抜美術展の開催等の県事業も市内各種文化団体等の協力のもと実施することができた。</p> <p>・歴史文化遺産を活用した多種多様な事業を行い、多数の参加者を得た。</p>	

※ 自己評価については「達成」、「概ね達成」、「やや不十分」、「不十分」の4段階評価とする。

評価委員会の評価	概ね妥当
<p>公民館の利用率が3年連続伸びています。また、前年度課題であった登録グループによる「まちづくり出前講座」も本格的に実施されるなど、生涯学習の推進が着実に進んでいるというのは大いに評価できると思われます。</p> <p>学習拠点としての図書館の推進については、前年度の課題を踏まえ、学校(市内中学校の巡回図書開始など)との連携を進めるようになったことは前進であると考えられます。今後、さらに市内小学校にも幅を広げていくことを期待しています。</p> <p>図書館の日頃の利用率(入館者数等)については、前年度と比較してどのような増減があったのか、その要因も含めて分析されるとよかったです。</p> <p>体力づくりや運動能力向上に向けた指導体制の充実、スポーツ団体の育成、体育施設の環境整備の促進については、定量的なデータを見ると年々成果をあげており、市民のスポーツへの関心が高まってきたように思われます。今後の課題については、前年度と同様な課題が指摘されていますが、もう少し具体的な施策を打ち出し、実施することによって、目標の達成に近づいてくると考えられます。</p> <p>文化の環境整備の充実については、歴史文化遺産を活用した事業を行うなど、多数の参加者を得られたということは評価できると言えます。</p>	

※ 評価委員会の評価については「妥当」、「概ね妥当」、「やや不適」、「不適」の4段階評価とする。

重点目標	3	みんなで子どもの未来を応援します
------	---	------------------

実践目標	1	子育て環境の整備と充実を図ります	
<p>●取組1 「子育て環境の整備と充実」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所一体型施設の建設計画推進ならびに放課後の児童健全育成の場づくり ・延長保育・病児病後児保育など特別保育ならびに多子世帯への保育料軽減など子育て支援の充実 ・公民館等に子育てセンター2園を開設し、親子交流や地域交流などを通じて子育て支援を実施 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加西中学校区と泉中学校区では、保護者代表・地域代表者・幼保施設関係者等を交えた就学前施設整備基本計画地域協議会で幼保施設統合計画の検討を始めた。また、北条地区(北条中学校区)就学前施設整備基本計画地域協議会を設置し、保護者へのアンケート調査結果等を参考に当該地区の基本計画を公表した。地域や保護者を対象に幼保施設再編計画説明会等を計7回開催し、意見交換ならびに周知を図った。 ・公立北条東幼稚園と北条南保育所の一体化を民設民営で進めたが、加西市立幼稚園・保育所移管先事業者選考委員会での検討結果どおり平成27年度4月開園に向けて施設一体化を公設公営で実施することにした。 ・北条学童園では、園児増加に伴い校舎外に新たに園舎を建設し、平日利用ならびに土曜学童の拠点施設として整備を行った。 ・善防中学校区では、旧下里幼稚園跡地を活用した私立幼保連携型認定こども園の誘致を行い、平成27年4月開園に向けての建設計画ならびに事務手続きに着手した。 ・市民の利便性を考慮し、北条町駅前に病院併設型の病児病後児保育園開設に向けた整備助成を行った。また、多子世帯保育料軽減措置は、第2子として63名ならびに第3子として86名の申請を受理し子育て支援を行った。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保施設の再編については、中学校区毎に地域代表者・保護者代表者・公立私立園代表者等で構成する協議会を設け、地域実情、乳幼児実態や将来設計等の情報共有化を図るなど保育・幼児教育環境施設再編協議を丁寧に進める必要がある。 ・再編に伴う幼保施設は、公設公営による新築計画を進めており、建設事業に係る財源確保を行う必要がある。 ・特別保育などの子育て支援については、国指針や基準等に基づき市子ども・子育て会議で平成26年度を目途に市支援事業計画の策定を急いでいるが、施策内容の拡充や継続した実効性等について関係する他部課間での連携ならびに柔軟に対応できるマンパワーの増強など体制強化が急がれる。 			担当課
			こども未来課
			達成度

実践目標	2	心豊かでたくましい青少年の健全育成を進めます												
<p>●取組1 「いじめや不登校、暴力行為等の未然防止、早期発見、早期対応の取組の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・警察・総合教育センター連絡会の年間5回開催 ・いじめ対応加西市ネットワーク会議の新設、年間2回開催 ・いじめ対応のための「生活アンケート」の市内統一項目化、アンケートの実施 ・全小中特別支援学校における「ネットトラブル防止」のための出張研修、「インターネット等による犯罪・トラブル防止運動」作品展の開催 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対応加西市ネットワーク会議を開設することで、いじめ防止と早期発見・早期対応の体制を確立した。 ・いじめ防止のための「生活アンケート」の市内統一項目を作成し、未然防止と早期発見・早期対応に役立てた。 ・児童生徒のインターネットトラブル防止に関する意識を高めることができた。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止においては、いじめ対応マニュアルに沿った組織的な対応や学校いじめ防止基本方針等の周知を図り、家庭・学校・地域が連携し、全市的な取組を展開する必要がある。 ・インターネット等による犯罪・トラブル防止について啓発を進め、学校においてもカリキュラムに組み入れるなどさらに積極的な取組を図る必要がある。 		<p>担当課</p> <p>総合教育センター</p>												
		<p>達成度</p> <table border="1" data-bbox="1318 954 1503 1128"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>												
<p>●取組2 「青少年育成活動の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが、多様な体験活動を通じてたくましい身体と豊かな心を育てることを目的にしたジュニアリーダー教室の年間10回開催 ・加西市子ども会育成連絡協議会による将棋大会や球技大会、「雪」体験ツアーなどの開催による青少年活動の推進 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアリーダー教室において昨年度より多い参加者があり、活気ある活動を実施することができた。 ・県子ども会連合会で県オセロ大会が新設され、加西市から多くの参加者があり、優秀な成績をあげた。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年団体構成員や育成指導者の減少により、活動の継続が困難な状況がある。 ・青少年活動を推進する指導者の育成が急務である。 		<p>担当課</p> <p>総合教育センター</p>												
		<p>達成度</p> <table border="1" data-bbox="1318 1653 1503 1823"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>												

実践目標	3	安全・安心な教育環境を整えます												
<p>●取組1 「教育環境改善・安全対策工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境改善工事とし、小・中・特別支援学校に空調設備を完備。小・中学校のトイレ洋式化推進。環境教育の一環としては、小・中・特別支援学校に太陽光発電設備を設置。宇仁小学校のプール浄化装置改修工事、宇仁・九会小学校プール塗装工事、富合小学校プールトイレ下水対応工事を実施 ・耐震化工事として、宇仁小学校地震改築工事、善防中学校北校舎・泉中学校校舎耐震化工事の施工。設計として、富田小学校南校舎地震改築工事、九会小学校南校舎・善防中学校体育館・富合小学校北校舎耐震補強工事設計の実施 <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境改善工事の空調設備・トイレ改修・太陽光発電設備は、改修改築計画のある施設を除くすべての施設について実施した。平成24年度当初では、環境改善工事は平成28年度以降に行う計画であったが、その計画より3年以上早く実施できた。プール関係施設の改修工事により、良好な水質が確保できた。 ・耐震化工事としては、宇仁小学校校舎、善防中学校北校舎、泉中学校校舎の耐震化工事が完了したため、耐震化率が82.7%になった。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震化率は82.7%となったが、兵庫県の耐震化率を下回っている。今後も予算の前倒しを行い耐震化を進める必要がある。 ・各校とも設備が老朽化しており、耐震補強工事と合わせて、設備改修工事を実施していく必要がある。 		<p>担当課</p> <p>教育総務課</p>												
		達成度												
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>												

※ 達成度の表示については、横軸：難易度、縦軸：成果として塗潰して表示する
 難易度は高い順にA～Cの3段階、成果は高い順に4～1の4段階で評価する
 右の例示は難易度B、成果3

4			
3			
2			
1			
	C	B	A

教育委員会自己評価	概ね達成
<p>・加西中学校区と泉中学校区では、就学前施設整備基本計画地域協議会を立ち上げ、幼保施設統合計画の検討を始めることができた。また、北条中学校区では公立北条南保育所と北条東幼稚園の統合による再編を公設公営で、善防中学校区では私立幼保連携型認定こども園を誘致し、幼保施設の整備を着実に進めることができた。</p> <p>・いじめ対応加西市ネットワーク会議の開催や、市内統一の「生活アンケート」の作成実施などにより、いじめの未然防止と早期発見・早期対応に努めることができた。</p> <p>・インターネットに関する全学校へ出張研修や作品展開催により、児童生徒のネット犯罪・ネットトラブル防止に関する意識を高めることができた。</p> <p>・教育環境改善は、小・中・特別支援学校の空調設備・トイレの洋式化工事と太陽光発電設備により飛躍的に進んだ。</p> <p>・安全対策工事の耐震化事業は、計画通り進み82.7%となったが、今後もさらに、耐震化を進めていく必要がある。また、設備の老朽化のため改修工事も実施する必要がある。</p>	

※ 自己評価については「達成」、「概ね達成」、「やや不十分」、「不十分」の4段階評価とする。

評価委員会の評価	概ね妥当
<p>いじめ対策については、市独自のネットワーク会議を開催したり、市内統一の「生活アンケートの作成実施」を通して、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に着手しておられるということは評価できます。そういった組織的な対応がいじめの減少にもつながり、目標の達成度の高さにも結びついています。今後さらに学校や関係機関との連携を図りながら推進していくことを大いに期待しています。</p> <p>安心・安全な教育環境については、環境改善工事を3年間前倒しで実施したということは、子どもたちの安心・安全を重要視した施策であり、迅速な対応は大いに評価できます。</p> <p>耐震化については、平成27年度耐震化率100%に向け、着実に進められており、高い達成度につながったと考えられます。</p>	

※ 評価委員会の評価については「妥当」、「概ね妥当」、「やや不適」、「不適」の4段階評価とする。

総合コメント

加西市独自の評価方法として、マトリックス表を活用しての評価は、達成度が可視化でき、前年度の評価と対比しやすく、自己評価がしやすいものと考えます。また、重点目標に対して、取組、成果、課題のポイントが簡潔にまとめられており、組織としての連携が十分図られていたと思われ
ます。前年度より成果があがっている項目も幾つかあり、各重点目標を達成しようとする教育委員
会の真摯な姿勢が伝わります。

今後の課題としては、市民や子ども達を取り巻く教育の現状課題を把握するため、もう少し成果
や課題の情報収集・課題分析が重要になってくると思われ
ます。それをまた地域住民や各学校、家
庭とも共有を図ることによって、「魅力ある学校づくり」「魅力ある地域づくり」に一歩一歩近づ
いていきたいものです。

最後に、「地域」「学校」「家庭」をつなぐサーバント・リーダーとしての教育委員会の役割を
期待しています。

教育委員会評価委員会

教育委員会の点検評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する方の知見や、客観性を
確保することが可能となる方の意見をいただき、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果た
すことを趣旨としており、次の方々に評価委員をお願いしました。

評価委員会委員	
所 属	氏 名
兵庫教育大学 教授	日渡 円
兵庫教育大学 教授	藤本 孝治